

北陸ICT利活用セミナー 「官民データ活用と自治体の役割」

北陸情報通信協議会は、2月24日（金）金沢東急ホテルにおいて、北陸総合通信局と共催で、北陸ICT利活用セミナー「官民データ活用と自治体の役割」を開催、自治体関係者やICT関連企業から80名が参加しました。

開会にあたり、吉武北陸総合通信局長が、自治体の役割はそこに暮らす住民の福祉の向上や産業の振興であり、オープンデータ推進の取組により、地域の課題を解決していくことが大切と挨拶しました。

基調講演をされた筑波大学川島教授は、地域課題の解決の鍵は「公助から共助」であり、地域課題をデータ×市民×ICTで解決していく可能性と官民対話にむけた自治体のアプローチの重要性が述べられました。総務省情報流通行政局地域通信振興課白井補佐からはIoT実装推進に向けてと題して「官民データ活用基本法の概要と政府の取組」を説明しました。

続いて、NPO法人コミュニティリンク榊原理事から、市民がICTを活用して地域課題解決を図っていくシビックテックの可能性と課題が述べられました。

自治体からの取組も紹介があり、富山市からは住民が道路の危険箇所情報を通報・投稿し、行政側がその情報に基づき道路補修などを行う共通プラットフォームの構築事業の取組の現状と課題が、金沢市からは官民協働で開発され全国90都市以上で利用されている「ゴミナシ」アプリや、アプリコンテストの開催など市民を巻き込んだ様々な取組が、鯖江市からは全国の先駆者として2012年より取り組んだ「データシティ鯖江」の成果と今後の取組が述べられました。



富山市統計情報課主事
川崎 勝徳 氏



金沢市 ICT推進室長
松本 明 氏



鯖江市情報政策監
牧田 泰一 氏



筑波大学教授
川島 宏一 氏



NPO法人コミュニティリンク理事
榊原 貴倫 氏

- 基調講演
「データ・コラボラティブ ～データ活用は多様な対話・協働から～」
筑波大学 システム情報系 社会工学域教授 川島 宏一 氏
- IoTの実装推進に向けて
「官民データ活用推進基本法と政府の取組」
総務省情報流通行政局 地域通信振興課課長補佐 白井 清兼
- 講演
「シビックテックへの期待と課題」
NPO法人コミュニティリンク 理事 榊原 貴倫 氏
「富山市オープンデータの取組について」
富山市企画管理部情報統計課 主事 川崎 勝徳 氏
「金沢市におけるオープンデータの取組」
金沢市都市政策局 ICT推進室長 松本 明 氏
「データシティ鯖江 オープンデータの取組」
鯖江市政策経営部 情報政策監 牧田 泰一 氏



自治体・ICT関連企業から80名が参加
写真は基調講演の様相